



第一回姉妹校交流の記録

平成23年8月22日(月)～29日(月)

参加生徒11名(男子2名、女子9名)

すべてが初めての
経験。手荷物検査
も友達と会話しなが
ら、確認をする。



ホストファミリーと対面の緊張
の瞬間も笑みがこぼれる。
現地時刻は夕方7時。
まだまだ明るい。



歓迎セレモニーで挨拶
をする生徒たち。
事前学習で英語または
ドイツ語のスピーチと英語
の学校紹介を披露した。



授業のあとのランチタイム。
積極的にドイツの方たちとテーブルを共
にする生徒の姿が見られた。



教会で。
生徒の質問に
答えてくれる
現地の学生。

コミュニケー
ションは英語で。
身振り手振り
で会話をした。



地元企業のプレゼンテーション。
ドイツの生徒たちと実験を楽しみながら、
英語による講義を受けた。





市庁舎の歓迎
セレモニーにて。
天皇・皇后両陛
下のサインがあ
る
市庁舎のゲスト
ブック。
生徒たち全員が
ここにサインした。

地元の新聞に生徒
たちの紹介記事を
発見した。もちろん
記事はドイツ語。





ひとつひとつの
風景に文化と
歴史の違いを
感じた。英語の
ガイドにお世話
になりながらの
市内見学も、自
然と笑顔になる。



街のなかで食文化の違いを体験。
中身も違うが大きさも違う。

美しいステンドグラスを前に、生徒はため息を漏らした。

ドイツの文化と歴史の深さを感じた体験。





ケルン大聖堂
集合写真

交流の様子。折り紙は、
作品を披露するだけで
なく、個別に折り方を
伝えた。





アルプス一万尺
を、日・独生徒で
一緒に楽しんで
いるところ。

カレーをみんなで
作っている様子。
教えあいながら
協同作業が進む。



グッバイセレモニーの
あと、日・独生徒の連
弾が自然と始まった。
言葉の壁を越え、心の
交流が進んでいる。



カント・ギムナジウム校前で
お別れ前の一枚。
それぞれがホストファミリー
と再会を約束し、涙の別れ。



生徒感想文より

「色々な世界をもっと見てみたいと思うことが出来ました。」

「授業では短い時間で多くのことを学んでいて、生徒が進んで発言をしていたので感心しました。」

「私が知らなかった世界がまだあること、言葉の大切さ、行動力の大切さ、人の温かさなど、数え切れないくらい教えてくれました。」

生徒感想文より

「今度行く時はもっと語学力をつけてから行く、という目標ができました。」

「この体験は将来、英語系の職業につきたい私にとって、大きな一歩になったと思います。」

・・・この体験を支えてくださった周囲の方
に対し、全ての生徒が心からの感謝の
言葉を記していました・・・

平成24年度、秋！
カント・ギムナジウム校の生徒を迎えます。

